

総合検査依頼書及び総合検査報告書 改訂のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、弊社総合検査依頼書及び総合検査報告書において、検査項目の統合や検査の受託中止に伴い、内容を一部変更させていただきます。

従来の総合検査依頼書も引き続き使用可能ですが、ご依頼の際は変更内容を参照の上、ご使用ください。

先生方にはご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白



変更対象

● 総合検査依頼書、総合検査報告書 等

変更日 2022年4月より順次変更

【変更内容】

- ①検査項目の統合・中止に伴い、総合検査依頼書の項目の配置を変更いたします。
- ②アルブミン(AIb)とA/G比については、総合検査依頼書と総合検査報告書に掲載されている項目をBCG法による項目からBCP改良法による項目に変更し、それに伴い総合検査報告書の基準値も変更いたします。
- ③総合検査報告書から受託中止となった項目であるLD(LDH)/JSCCとALP/JSCCを削除し、空欄に変更いたします。
- ④総合検査報告書の裏面に記載されている報告書コメント内容に「\$ 溶血の為参考値」を追加いたします。

次ページに続きます

依頼書見本(例:総合検査依頼書)

新

生化学検査A	Na・Cl	血清NTX
総蛋白	K	TRACP-5b
アルブミン/BCP改良法	Mg	P1NP
A/G比 BCP改良法	Ca	SP-D
蛋白分画	IP	KL-6
総ビリルビン	Fe	免疫学的検査A

従来

生化学検査A	Na・Cl	血清NTX
総蛋白	K	TRACP-5b
アルブミン	Mg	P1NP
A/G比	Ca	SP-D
蛋白分画	IP	KL-6
総ビリルビン	Fe	免疫学的検査A

掲載項目変更

報告書見本(例:総合検査報告書)

新

項目名	基準値	単位	結果
総蛋白(TP)	6.5~8.2	g/dL	TP
A/G比 BCP改良法	1.2~2.2	A/G	
アルブミン(Alb)BCP改良法	3.8~5.2	g/dL	Alb
総ビリルビン	0.3~1.2	mg/dL	T-Bil
直接ビリルビン	0.4以下	mg/dL	D-Bil
ALP/IFCC	38~113	U/L	ALP/IFCC
LD(LDH)/IFCC	120~245	U/L	LD/IFCC
AST(GOT)	10~40	U/L	AST
ALT(GPT)	5~45	U/L	ALT
γ-GT(γ-GTP)	M 79以下 F 48以下	U/L	γ-GT
コリンエステラーゼ	M 245~495 F 198~452	U/L	Ch-E
LAP	30~78	U/L	LAP

従来

項目名	基準値	単位	結果
総蛋白(TP)	6.5~8.2	g/dL	TP
A / G 比	1.30~2.00	A/G	
アルブミン(Alb)	3.7~5.5	g/dL	Alb
総ビリルビン	0.3~1.2	mg/dL	T-Bil
直接ビリルビン	0.4以下	mg/dL	D-Bil
ALP/IFCC	38~113	U/L	ALP/IFCC
LD(LDH)/IFCC	120~245	U/L	LD/IFCC
AST(GOT)	10~40	U/L	AST
ALT(GPT)	5~45	U/L	ALT
γ-GT(γ-GTP)	M 79以下 F 48以下	U/L	γ-GT
ALP/JSCC	104~338	U/L	ALP/JSCC
LD(LDH)/JSCC	120~245	U/L	LD/JSCC
コリンエステラーゼ	M 245~495 F 198~452	U/L	Ch-E
LAP	30~78	U/L	LAP

※この他の報告書についても同様に變更いたします。

報告書裏面の報告書コメント

「\$ 溶血の為参考値」が追加となります。

生化学

記号	コメント
A	再検済
B	溶血が認められました
C	乳びが認められました
D	測定感度以下
E	凝固の為

ニ	希釈1000倍
マ	凍結の為
ミ	採取法を確認してください
ン	採血量過剰
\$	溶血の為参考値

血液学

記号	コメント
A	再検済
B	溶血が認められました
C	乳びが認められました
D	測定感度以下
E	凝固の為

ハ	ATYPICAL LYMPHOCYTE
ホ	BLAST
ラ	凝集有り
ン	採血量過剰
\$	溶血の為参考値

尿検査

記号	コメント
A	再検済
B	溶血が認められました
D	測定感度以下
F	フィブリン析出
G	参考値

マ	凍結の為
ヤ	RBC 1万以下
ユ	RBC 1~2万
ヨ	RBC 多数
\$	溶血の為参考値